



名張市男女共同参画

つうしん

第
133
号



2025年6月発行

特集「なばりのきらきらウーマン」

かとう りさ

第31回 名張市PTA連合会 副会長 加藤 理沙 さん



名張できらきら輝く女性へのインタビュー企画・第31回は、名張市PTA連合会の副会長として活躍する加藤さん。飾らない人柄と、ゆるぎなくポジティブなお話が印象的でした。

(インタビューの内容はこちらです)

6月23～29日は男女共同参画週間

今年の
キャッチ
フレーズ

誰でも、どこでも、自分らしく

性別に関わりなく、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには、市民の皆さん一人ひとりの取組が必要です。

性別で、「らしさ」
を決めてない？
例えば右のような。
この機会に
考えてみよう♪

- ・女子なのに数学ができてすごいね
- ・男の子にはスポーツを習わせたい
- ・女の職場は怖い
- ・運転は男性の役目
- ・ママ、お子さんは誰が見てるの？
- ・パパなのに子守して偉いね

名張市では

- 6月3日～15日…名張図書館1Fで啓発パネル展示
- 6月17日～30日…名張市役所1Fで啓発パネル展示
- 6月18日～29日…名張市男女共同参画センターで啓発展示（上記の3カ所の展示内容は共通です）
- 6月23日 17:00～1時間程度…大型店舗前で街頭啓発



名張市男女共同参画センター

三重県名張市希央台5番町19番地
Navarie 2階名張市市民情報交流センター内

TEL 0595-63-5336 FAX 0595-63-5326

e-mail danjo-center@emachi-nabari.jp
https://www.emachi-nabari.jp/j-kouryu/



「つうしん」
web版はコチラ

ご意見・ご感想をお聞かせください



いろんな組織で
取り組まれている



ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン

D E & I ってどんなこと？

「DE&I」(DEI)は、多様性や公平性を尊重し、誰もが受け入れられる包括的な組織や社会を実現しようとする取組です。

グローバル化を背景に注目され、企業の取組として語られることが多い「DE&I」ですが、「誰一人取り残さない」というSDGsとも関連があり、その考え方は私たちの社会生活にも大切なものではないでしょうか。

Diversity

ダイバーシティ

多様性

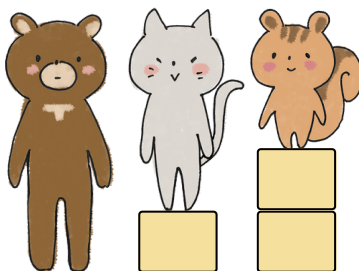


人種、性別、障がい、宗教、価値観など異なる属性を持つ人々が共存する状態をいいます。ダイバーシティは当初、人種や性別に対する差別是正に焦点を当てていましたが、現在では経験やライフスタイルなどの内面的要素も含むあらゆる属性の共存をめざしています。

Equity

エクイティ

公平性・公正性

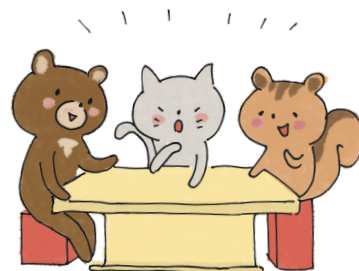


個別のニーズ・背景に応じた支援や資源を提供し、不均衡を調整することをいいます。例えば、全ての従業員に同じ研修を受けさせるだけでなく、障がいのある人には適切な環境を用意したり、経済的理由などで教育機会に恵まれない人には追加の教育を提供したりします。

Inclusion

インクルージョン

包括性



多様な個人がコミュニティの一員として、価値を認められ、積極的に参加できる環境を作ることです。それぞれが意見を発し、自分の存在が組織にとって重要であると感じられる状態をいいます。どの人も差別や偏見から保護されてこそ、インクルージョンが実現します。

【平等と公平】

以前はD&Iだった取組に、近年「E(エクイティ=公平性/公正性)」が入ってきました。生まれもった環境など、スタートの時点ですでに不公平が存在している状況では、機会を平等にしたとしても、結果として不平等が解決されることにはならないのです。平等は「スタートラインをそろえる」こと、公平は「ゴールラインをそろえること」と言うことができます。

参考資料：WEBサイト「朝日新聞SDGs ACTION!」「ELEMENIST」「JMAM」

多様な人がいる
ほうが、新しい考えが
生まれるし、持続可能
なんだから。一人ひと
りが「認め合う」環境
っていいね!



えほんのじかん

せかいでさいしょにズボンをはいた女の子

キース・ネグレー 作/石井睦美 訳/
光村教育出版/2020

「ちょっとむかし、女の子はズボンをはいちゃいけなかった。女の子がきることができたのは、きゅうくつなドレスだけ……そんなことって、しんじられる？」……これは、実在したアメリカ人のメアリー・エドワーズ・ウォーカーの物語です。実際のメアリーは、服装を理由に何度も逮捕されました。ジェンダーの決めつけを克服し、「好きな服を着る」という道を切り開いたお話は、今を生きる私たちにも勇気を与えてくれます。



貸出あり

キース・ネグレー 訳 石井睦美

光村教育出版

モヤモヤ委員会

第9回

成人向け雑誌、見えてる問題

2019年に、コンビニ各社が相次いで「成人向け雑誌」の取り扱いをやめると発表し、一時は姿を消したのですが、今、コンビニなどに行くと、女性の写真と性的な文言がちりばめられた、成人向けと分かる表紙の雑誌があります（店舗によります。出版の基準によると明確に18歳未満禁止ではないそうです）。

2019年は東京オリンピックを前に外国人への配慮もあったとのことですが、世界基準に照らして望ましいことなら、国際イベントが終わっても続けたほうが良くない? 「誰かれ構わず見える」ことのないように、売り方を工夫してもいいかも……みんな考えてみませんか?



つうしん133号アンケート



- 1、参考になった記事をお答えください（複数回答可）
 ④ 特集「なばりのきらきらウーマン」
 ⑤ 男女共同参画週間
 ⑥ DE&Iってどんなこと?
 ⑦ モヤモヤ委員会第9回
 ⑧ 相談日程
 ⑨ 参考になった記事はなかった
- 2、興味のあるテーマ、今後読みたいと思うテーマはどれですか?（複数回答可）
 ④名張市の男女共同参画 ⑤世界の男女共同参画 ⑥その他（ ）
- 3、特集「なばりのきらきらウーマン」についてご意見・ご感想をお聞かせください。
- 4、133号の記事全体について、ご意見・ご感想をお聞かせください。

★ お名前、年齢、住所、「〇号アンケート」と明記の上、下記の宛先へお送りください。（送料等をご負担ください）

WEBで回答



メールで回答



WEB <https://forms.gle/R8QCjC3tCnijPeKZ9>
 メール danjo-center@emachi-nabari.jp
 郵 送 〒518-0775 名張市希央台5-19
 名張市男女共同参画センター宛
 FAX 0595-63-5326

応募締切:8/10日(必着)

※ご記入いただいた個人情報は図書カード発送のみに使用し、当選発表は景品の発送をもってかえさせていただきます。

編集後記

先日、当センターの入っている複合施設での避難訓練に参加しました。消防署の指導の下、各テナントのみなさんと一緒に、「けむりハウス」（息苦しくて視界ゼロ!!）体験をしました。百聞は一見にしかず、「煙ってこんなに怖いんだ」と実感。消火器は15秒で空になるので、「最初から」「炎でなく燃えているモノ」に当てることや、固定電話よりも、危険が迫ったら移動できる携帯電話での119番通報が望ましいことなど、勉強になりました。いざという時のために、普段の学びって大切……あ、これは、ジェンダー視点の防災で感じたことと同じだ!



相 談 日 程

名張市男女共同参画センター

7月
2025

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
			女性のための相談 9:00~12:00		女性弁護士による法律相談 10:00~14:00 女性のための相談 13:00~16:00	
6	7	8	9	10	11	12
	休館日		女性のための相談 9:00~12:00			
		人権相談 13:30~16:00		男性のための相談 17:00~19:00	女性のための相談 13:00~16:00	
13	14	15	16	17	18	19
	休館日		女性のための相談 9:00~12:00	メンタルヘルス相談 10:00~12:00		
		人権相談 13:30~16:00			女性のための相談 13:00~16:00	
20	21	22	23	24	25	26
	休館日		女性のための相談 9:00~12:00			
		メンタルヘルス相談 13:00~16:00			女性のための相談 13:00~16:00	
27	28	29	30	31	●予約電話 63-5336	
	休館日		女性のための相談 9:00~12:00			

8月
2025

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					女性弁護士による法律相談 10:00~14:00 女性のための相談 13:00~16:00	
3	4	5	6	7	8	9
	休館日		女性のための相談 9:00~12:00			
					女性のための相談 13:00~16:00	
10	11	12	13	14	15	16
	休館日		女性のための相談 9:00~12:00			
		人権相談 13:30~16:00		男性のための相談 17:00~19:00	女性のための相談 13:00~16:00	
17	18	19	20	21	22	23
	休館日		女性のための相談 9:00~12:00	メンタルヘルス相談 10:00~12:00		
		人権相談 13:30~16:00			女性のための相談 13:00~16:00	
24	25	26	27	28	29	30
			女性のための相談 9:00~12:00			
31	休館日				女性のための相談 13:00~16:00	
		メンタルヘルス相談 13:00~16:00				



女性のための相談

予約優先

電話相談可

毎週水曜日 9:00~12:00 ※祝日の場合は
毎週金曜日 13:00~16:00 お休みです



女性弁護士による法律相談

要予約

面談

毎月第1金曜日 10:00~14:00



男性のための相談

予約優先

電話相談のみ

毎月第2木曜日 17:00~19:00



メンタルヘルス相談(男女共)

要予約

面談

毎月第3木曜日 10:00~12:00
毎月第4火曜日 13:00~16:00



人権相談

要予約

面談

毎月2回 ※詳しくは、名張市人権センター(☎63-0018)へお問い合わせください

Special interview 31

「男女共同参画」とは「自分らしくあること」ではないかと私たちは考えています。
男らしく、女らしく、ではなく、ありのまま生き生きと暮らす。
そんな風に「自分らしく」人生を歩んでいる地域の女性たちをご紹介します。

かとう りさ
加藤 理沙 さん

名張市PTA連合会
副会長

profile

小学4年生から名張在住。2020年からPTA活動に関わる。'23年度に名張市PTA連合会会長、'24・'25年度は副会長。フェムケアサロンを開く他、パート勤務もしている。4児の母。



名張の子どもたちのために
～学校、家庭、地域がつながって～

現在の活動を教えてください。

名張市PTA連合会（市P連）で副会長をしています。市P連は、子どもたちの健やかな成長をめざす社会教育団体です。地域、学校、家庭が協働し、子どもたちの安全を守ることや家庭教育の啓発、子どもの自己肯定感を高めることを努力目標に活動しています。

市P連は、市内の小中学校単位PTA（単P）で構成され、県や全国組織につながっています。ですから、一人ひとりの保護者の声を、市・県・国につなぐパイプ役になれます。また、単Pは、教職員の方々と連携しながら、子どもたちや学校運営の支援に努めています。

市P連では、理事会を開いて話し合い、市長や教育委員会と懇談もします。また、子どもたちや保護者と伊賀・名張の高校をつなぐ「高校フェスタ」や、保護者と教職員の「いかなばり子どもの未来

を語る会」（教職員組合との共催）も開催しています。昨年度は、新しく「ばりPマルシェ」を開催し、今年度も企画中です。その他、市や県の複数の会議等に参加しています。

私は、フェムケアセラピストとしてサロンを開いているので、PTAを通して「性教育は家庭から」をテーマに講演もしています。

活動を始めたきっかけや、やりがいとはどんなことですか？

最初は、義務的な気持ちで2020年度に蔵持小学校のPTA本部会計になりました。次年度に同小のPTA会長と市P連の役員に。そして、2023年度には市P連会長になり、その後は副会長として関わり続けています。

どんな活動も「やらされて」はしんどいですよね。でも、市P連にはお子さんが卒業してもアドバイザーとして残ってくれる方々や、主体的に取り組ん

でいる役員さんたち、そして真摯に向き合ってくれる単Pの方々がいます。そんなみなさんと一緒に、大切な活動を継続・発展させるのは楽しくて、今ここにいます。

コロナ禍でいろんな活動ができなかった時期、子どもや親同士のつながりも希薄になり、閉鎖的な環境で虐待や不登校が増えるなど、すごく危機感がありました。その制限が解けたとき、単Pを励ます意味もあって昨年秋に開催したのが、親子で楽しむイベント「ばりPマルシェ」です。地域の会社・有志の協力もいただき、イベントでは子どもたちの笑顔がはじけました。名張の子どもたちのために、PTAとしてできることを模索しながら、推進することがやりがいです。

大変なことや、仕事・家庭との両立のコツを教えてください。

第4子の妊娠中にPTA役員になったので、活動は出産・育児と同時進行。1歳の子を会議に同伴したことも、送迎などで遅れたこともありました。そんな時には、周りの役員さんたちがたくさん都合をつけてくださり、助けてくれました。

また、末っ子が家族と留守番のときによく泣いて、心苦しい瞬間もありました。市P連の会長を引き受ける時は、「悩んでる時点で、引き受けないと思ってるんやろ?やってみたら」と夫が背中を押してくれました。上の子たちは下の子の世話や家事にも協力的です。強制はしたくなくて、家事育児の分担は決めません。ただ、自分自身が素直でいるようにしています。妻だから、母だから、ちゃんとしなきゃ!ではなく、「できない」も要望も言います。これは活動でも共通ですね。そして、「ありがとう」や「ごめんなさい」も素直に口に出します。

職場の方々、ご近所さんや友人たち……みんなのフォローの中で、私もお返しをしたいと日々行動しています。周りの環境や人に恵まれている感謝を、いつも心に留めています。



今後やりたいことや望むことは何ですか？

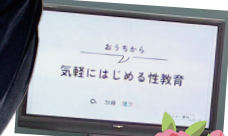
少子化や共働きの増加で、PTAは不必要という声もありますが、学校・家庭・地域がつながって、教育課題解決のための必要な知識を学べたり、困ったときに助けを求める手段になったりと、子育ての味方だと私は考えています。「役員をやりたくない」との声も多いものの、負担は減らせばいいし、実態やその必要性を知ることによってイメージが変わり、2度3度と引き受ける人も多くいます。そんなPTA活動を通して、子育てしやすいまちづくりができと思っています。

そしてこれからも、人の目を気にせず、好きな装いで自分らしくいたい。私は4児の母でも幼い子どもがいても、周りの助けがあってやりたいことができています。子育てをしている人へのフォローや助け合いが増えて、子どもをみんなで守り育てられる。そんな名張にしていけたらと思っています。

調味料づくり
たまねぎこうじ
しょうゆこうじ
塩こうじ
など



高校生の鬼子の
サッカーの追っかけ
をしています。
他にも、作る・
学ぶことが好き!



* 見つけた「彼女らしさ」 *

ずっと伸びた背筋から、キリリとした存在感を醸し出す加藤さん。家庭でもPTA活動でも、飾らずに正面から周囲と向き合うことで、フォローし合い、協力し合う関係を築いている姿が素敵です。彼女の熱量のある話を聞いていると、自分に何ができるか考えさせられます。そんな「周囲を巻き込む力」に、加藤さん「らしさ」を見つけました。